

# 乳幼児による加熱式たばこの誤飲に注意！

ネットやコンビニで手軽に買えるようになった「加熱式たばこ」。これは、たばこ葉やそれを加工したものを燃焼させずに電氣的に加熱し、霧状化したニコチン等を吸入するたばこ製品で、愛飲している人も増えているようです。しかし、スティック等の多くは乳幼児の口に収まる大きさであり、たばこの誤飲事故がなくなりません。



## 【事故事例】

- ・本体に挿したまま置かれていた吸い殻を誤飲。
- ・わずかな間に、ごみ箱に捨ててあった吸い殻を口に入れてしまった。
- ・加熱式たばこのスティックを口にして、たばこ葉の部分がなくなっていた。
- ・加熱式たばこの吸い殻が入った飲み残しの飲料を子どもが飲んでしまった。
- ・ごみ袋から加熱式たばこの吸い殻を取り出してかじっていた。
- ・こたつの上に置かれていた灰皿の吸い殻を誤飲して1日入院。
- ・保護者のかばんの中の吸い殻を誤飲して腹部レントゲンで金属片を認めた。

## 【アドバイス】

- ・加熱式たばこのスティック等は、乳幼児の手や目が届かない場所に保管・廃棄しましょう。
- ・もし、スティック等を口にしてしまい、口の中にたばこ葉がある場合は、できるかぎり取り除いてください。
- ・スティックなどを誤飲した場合は、水や牛乳などを飲ませず、直ちに医療機関を受診しましょう。（水や牛乳などを飲ませると、水分にニコチンが溶け出し、ニコチンが吸収されやすくなってしまいます。）
- ・家族や周囲の人がどのようなタイプの加熱式たばこを吸っているのか、把握しておきましょう。



保木本 尚子相談員

vol.21

消費者トラブル  
ニュース

## 消費者トラブルについてのご相談は…



日南町消費生活相談窓口（役場住民課） TEL：82-1112（平日9:00～17:00）

毎月第1水曜日は、専門の消費生活相談員も同席します。

土日は鳥取県消費生活センター（0859-34-2648）または消費者ホットライン188



じつとりと暑い日が続いて参ってしまいますね。「イノシシに入られないようにワイヤーメッシュの点検を！」なんて、もう聞き飽きているかもしれないが、侵入防止柵の効果を持続させるには、柵周辺の管理と点検しかありません。重要なことなので、点検方法をおさらいしておきましょう。

点検の際にはワイヤーメッシュ柵の下部を蹴って振動が大きくないかを確かめます。

## 獣害対策 アップデート

### 第26回 ワイヤーメッシュ 点検法

日野郡鳥獣被害対策協議会

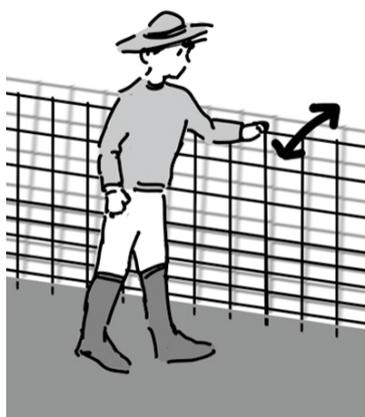
川野 風花

【問合せ】72-1399

揺すぶった際に4〜5枚先まで揺れが伝わっている時は、①支柱の穴が広がっている、②結束が緩んでいる、などが考えられます。

そして、何よりもまず、点検が行えるようワイヤーメッシュ柵周辺の草刈りをするのが重要です。

大変な作業なので、熱中症に気をつけて、水分補給と休憩を忘れずに！無理しないでください。



蹴った際の振動が大きい場合は、①柵が地面にしっかりと刺さっていない、②柵が獣によって持ち上げられている、③支柱との結束が切れている、などが考えられます。また、結束線が切れているのは、意外とわからないものなので、目視でもしっかりと確認しましょう。

もう一つは、ワイヤーメッシュ柵上部を揺すぶっての点検です。

